

# 鷹の目の狩人

XVII

## 天空の城 竹田城、 城ブーム到来か

しろはく古地図と城の博物館富原文庫  
代表 富原 道晴

日本のマチュピチュ、天空の城として但馬竹田城がテレビCMに映し出され、現地の石垣が壊れるほどの人出でにぎわっている。確かに雲海に聳え立つ城跡は見事の一語である。竹田城は兵庫県和田山町のシンボルとして、JR竹田駅の目の前に聳える標高351m、比高251mの山城だが、十年前までは限られた城郭研究者しか訪れることはなかった。しかし、城郭石垣の構成は全国的に見ても白眉であり、山城としては石州津和野城、越後村上城、豊後竹田城、備中松山城、大和高取城が同じようなイメージを持たれるであろう。石垣美では肥後熊本城、讃岐丸亀城、摂津大坂城、伊賀上野城が見事である。竹田城は天正5年(1577年)、NHK大河ドラマの黒田官兵衛の姫路城を基地とする羽柴秀吉が、弟小一郎秀長に生野銀山を接收、但馬攻略を目的として攻め落とし、天正13年(1585年)年、豊臣政権確立と共に赤松広秀が配置された。赤松広秀は慶長5年(1600年)まで竹田城2万2千石の主となる。その間、九州攻略、北條小田原攻め、朝鮮出兵に参戦、秀吉死後、関ヶ原で西軍に属し、切腹、竹田城も廃城となった。

竹田城跡が後の諸大名の城跡と比べて、ひときわ人気が高いのも、その景観と共に、埋もれた城、古城に対する郷愁を覚えるためと思われる。古城として、人気の城跡は近江安土城、肥前名護屋城等、亡び埋没して、栄華の跡が残された遺構である。「国破れて山河あり、城春にして草木深し、時に感じて花にも涙をそそぎ、別れを恨んで鳥にも心を驚かす」と戦乱



羽柴秀吉姫路築城

に見舞われた都長安を詩人杜甫が757年にうたった漢詩の世界である。

全国に城はいくつあるのですかと聞かれることがある。一般には城が天守をイメージされているなら、日本全国では北は弘前城から南は高知城まで12城とお答えしている。12城といえども城跡に過ぎない。幕末には城と陣屋で3百城近くが残されていた。近所に城跡があることを御存じの方には、殆どを占める中世城郭、大半は山城であるが、その数4万2千~5万と答えている。まだまだ未知の城跡が発見される可能性がある。岡谷の宮坂先生は実に長野県で1,800の城を歩き、縄張図を作成された。80歳のご高齢である。城跡として郷愁を誘うのはこれら数万の城跡であり、それらは身近な周辺の山々に隠れている。

全国各地に城郭研究会が数十存在する、殆ど各県にある。全国組織の日本城郭協会、日本城郭史学会、年代別の中世城郭研究会、織豊城郭研究会、古代山城研究会、地方別の関西城郭研究会、東海古城研究会、日本古城友の会、各県の城郭研究会が毎月のように活動されている。ネット上の城郭情報も氾濫している。当文庫にたまたま来場される方も、展示品を見て、私もといわれる。聞いてみれば、人知れず眠る山の中の城跡をいくつも歴訪されている。城めぐりツアーも盛んである。歴女という言葉や、城愛好家の芸能人は多くおられるが、その熱意には驚くばかりである。城ブーム到来かと思われる。ということで6月16日まで、安中市学習の森ふるさと学習館にて『城絵図に見る上州の戦国時代展』が開催中です。

中世城郭 安中市学習の森ふるさと学習館

### 城絵図にみる 上州の戦国時代

—富原文庫所蔵城絵図の世界—

上州管輪 大井城 図と攻

平成26年  
4月19日  
6月16日

安中市学習の森  
ふるさと学習館

展示解説  
平成26年 4月27日(日)  
11:30-14:30 214-40-15-40  
平成26年 5月18日(日)  
11:30-14:30 214-40-15-40  
定員 15名、先着順  
申し込み方法: 電話で申し込み(要予約)

CONVERTECH CONVERTECH CONVERTECH CONVERTECH CONVERTECH CONVERTECH CONVERTECH CONVERTECH CONVERTECH